

「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)
安芸教区委員会 各部会及び特別部門

<常任委員会>

【役割・目的】

- 各部、各団体の活動報告と連絡調整を行いながら、教区実践運動推進状況の把握につとめる
- 教区内外の災害における、あらゆる災害被災地（者）への支援活動を行う
- 寺院振興対策（過疎問題）について、教区寺院振興対策委員会及び各組と連携して具体的な取り組みを行う

【前年度の報告と今後の課題】

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催が難しい状況ではあったが、オンラインを併用するなどして開催し、可能な限り常任委員会のなかで各部会各団体の活動報告と連絡調整をしながら、教区における運動進捗状況の把握につとめた
- ・教区における今後の運動推進体制について検討し、よりよい体制づくりをめざす

<重点プロジェクト部会>

【役割・目標】

- 教区における宗門重点プロジェクトの実践目標<貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～>—子どもたちを育むために—の具体的な取り組みを推進する
- 組重点プロジェクトリーダーと連携し、教区一体となった推進体制を構築する

【今後の課題・計画】

① 「貧困の克服に向けて」の研修会

日 時	2025(令和7)年 2月13日(木) 14:00～
会 場	本願寺広島別院 安芸門徒会館「共命ホール」
講 師	検討中
内 容	検討中

② 組重点プロジェクトリーダー・サブリーダー研修協議会

日 時	2024(令和6)年 9月13日(金) 14:00～
会 場	本願寺広島別院 安芸門徒会館「共命ホール」
講 師	奥寺憲穂 師（認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会 事務局長）
内 容	世界の子どもにワクチンを届ける取り組みについて

③ 安芸教区における「貧困の克服に向けて」の具体的な取り組み

- ・全員が参画できる取り組みとして、ペットボトルキャップ回収の取り組みを展開する。

<人権・平和部会>

【役割・目標】

- 「兵戈無用」の精神のもと、核兵器廃絶を推進し被爆地ヒロシマの願いを伝えていく
- 「実践運動」総合基本計画に基づき、宗門における人権・差別問題に取り組み、世界的な環境問題や多様性社会に即応した取り組みを実践する
- 現代社会の諸問題(いのちの尊厳を脅かす問題等)について教学的な視点から学びを深める

【今後の課題・計画】

- ・ 龍谷大学留学生平和プログラム実施（7月6日～7日）
- ・ 「全戦争死没者追悼法要」勤修（実行委員として）
- ・ 2025年に迎える「非戦・平和を願って80年（仮称）」に向けて
- ・ 「人権啓発推進僧侶研修会」（組同朋研修会）開催奨励
- ・ 教区同朋研修会開催

<社会部会>

【役割・目的】

- 寺院関係者の社会福祉への認識を新たにし、人々の悩みに応えることのできる寺院活動を展開する
- 寺院子弟研修会等の人材育成に資する諸施策を講じ、寺院活動の活性化を図る
- 本派社会福祉推進協議会安芸教区支部の運営主体として同協議会に携わり、教区内の地域社会・病院施設等における実践伝道の輪を広げるための活動を行う
- 矯正教化連盟、更生保護活動、ビハラー活動との連携を図る

【今後の課題・計画】

- ① お寺と福祉の勉強会
日 時 2024(令和6)年9月27日(金)
会 場 本願寺広島別院 安芸門徒会館「共命ホール」
講 師 ①藤原美喜 師（広島市基町地区で、地域包括支援センターセンター長、
社会福祉士、ケアマネージャーとして福祉・介護事業に携わる）
②桑原正雄 師（広島県感染症・疾病管理センター(センター長)、
県立広島病院(名誉院長)）
- ② 寺院子弟研修会
日 時 202 (令和)年 月 日()
会 場 本願寺広島別院
内 容

<門信徒教化部会>

【役割・目標】

- 仏事の簡素化や法座への参詣者減少などの寺院活動を取りまく課題を解決するための取り組みとして「連研」開催を推進し、僧侶と門信徒が更なる自覚をもって共に実践運動を推進する
- 門徒推進員や連研履修者の教区、組内での活動を支援・協力する

【今後の課題・計画】

① 連研のための研究会

日 時 2024(令和6)年 11月 22日(金) 14:00～
会 場 本願寺広島別院
講 師 旭 勲 師 (連研中央講師・新潟教区 与坂組 常禪寺住職)
対 象 連研開催組の各寺住職・衆徒・寺族・門徒推進員・連研に関心のある方
内 容 (仮)話し合い法座のコツ・魅力について

② 安芸教区研修講師研修会及び意見交換研修会

日 時 202 (令和)年 月 日() :00～
会 場 本願寺広島別院
講 師
対 象 安芸教区研修講師・門信徒教化部会部員
内 容

③ 連研履修者研修会

日 時 2025(令和7)年 2月 8日(土)
会 場 広島北組 德行寺
対 象 組連研/寺連研を履修した方・過去に修了した方が対象で中央教修に参加されていない方

④ 連研を知る学習会

日 時 開催時期未定
会 場 安芸教区内寺院・本願寺広島別院他
対 象 組連研未開催組及び休止組の各寺院住職・衆徒・寺族・門信徒・連研に関心のある方
備 考 連研(組連研・寺連研)を始めるための学びの場

⑤ 安芸教区「門徒推進員養成連続研修会」(全12回)

期 日 第4回 2024(令和6)年 4月 14日(日)
第5回 2024(令和6)年 6月 9日(日)
第6回 2024(令和6)年 8月 25日(日)
第7回 2024(令和6)年 10月 13日(日)
第8回 2024(令和6)年 12月 8日(日)
第9回 2025(令和7)年 2月 9日(日)
基本日程 13:00 スタッフ集合、準備・打ち合わせ、初回の方へ説明
13:30 受付
13:50 開会式<讃仏偈>
14:00 講義(20)
休憩(10)
問題提起(10)
班別話し合い(80)
班報告(20)
まとめ(20)
16:40 閉会式<恩徳讃・次回案内>
会 場 本願寺広島別院「共命ホール」他

⑥「研修講師派遣制度」実施

⑦安芸教区門徒推進員養成連続研修会開催助成金実施

<DX 推進部会>

【役割・目的】

- 教区ホームページのリニューアルに向けて準備を行い、寺院及び門信徒に向けたコンテンツを充実させる
- 教区・組・寺院まで円滑に周知できる情報の発信方法を検討する
- SNS を活用し、教区・組・寺院活動の情報を提供できるよう検討する
- ホームページや SNS 等を駆使した情報発信について、教区・組・寺院が研鑽できるよう「情報発信に関する研修会」を継続的に開催する

【今後の課題・計画】

- ① 情報発信に関する研修会
日 時 202 (令和)年 月 日() : 00～
会 場 本願寺広島別院
講 師
内 容
- ② 教区ホームページのリニューアルに向けて

<ご縁づくり推進委員会>

【役割・目標】

- 教化団体間の情報交換、課題を共有する中で、これまでの枠組みを超えた団体間の連携をもって、次代を担う青少年育成—子ども・若者ご縁づくりを推進する
- 僧侶と門信徒が一体となった寺院活動のあり方、開かれた寺院のあり方を探る

【今後の課題・計画】

- ① 『ピースナイター2024』参加
目 的 ピース折り紙、折り鶴ブース設置を通して、スタジアム内の子ども・若者を中心としたすべての年代の方々と「非戦・平和」への思いを再確認できる場を設け、平和への願いを伝承する。
日 時 8月14日(水) 18:00 vs 横浜 DeNA ベイスター
会 場 マツダスタジアム ライト側コンコース「どうぶつ広場」
対象者 試合観戦者
- ② 『School of Buddha』
目 的 世代を超えた多くの方々、特に次代を担う若い方々に仏教のこころを繋いでいくこと、また、これまでお寺にご縁のなかった方に阿弥陀さまのみ教えに遇っていただく
日 時 2月～3月頃
会 場 本願寺広島別院
対象者 高校生

③『PEACE おりがみ』

目 的 世代を超えたより多くの方々に「非戦・平和」を考えていただき、平和への歩みを共にしたいとの願いから、広島東洋カープ球団の協力を得て作製

<勤式推進委員会>

【役割・目標】

- 実践運動の推進に向けて、勤式作法・声明の研鑽普及につとめる。
- 法要儀式を執行するにあたり俗信習慣を見つめなおし、各組において啓発活動を行う。
- 勤式の重要性について、僧侶・寺族・門信徒に理解していただけるよう働きかける。
- 各組における葬送儀礼の現状を把握し、その問題・課題の克服につとめる。

【今後の課題・計画】

- ・教区において「仏事に関する研修会」を総代会・仏教壮年会・仏教婦人会を対象に行っていく。
- ・各組内において、組勤式推進委員を中心とした、研修会（各教化団体向け）を開催できるよう働きかける。
- ・勤式に関する研修会を前期、後期にそれぞれ開催する。（9月、2月頃を予定）
- ・親鸞聖人ご誕生 850 年・立教開宗 800 年慶讃法要をご縁とし、各組、一般寺院においても法要勤修、研修会等を開催できるよう働きかける。

<勤式前期研修会>

日 時 2024(令和6)年 11 月 8 日(金) 13:30～
会 場 本願寺広島別院「共命ホール」
講 師 堤 楽祐 師（滋賀教区愛知下組普門寺住職）
内 容 法式故実について

<教区報編集委員会>

【役割・目的】

- 教区報『見真』の発行
- 家族で読んでもらえる『見真』をめざし、次世代のご縁づくりの一助となるよう誌面充実を図る
- 別院教区の情報伝わりやすいよう、誌面内容の明瞭化を図る

【今後の課題・計画】

購読者増加をはかる施策を検討する